

本年度の重点に対する評価

| | | |
|-----------------|---|------------------|
| 本年度の重点 | 1 | 確かな学力・学習意欲の向上を図る |
| 目標（評価規準） | ○生徒一人ひとりが主体的に活動し、自己肯定感のもてる授業の実践 ○「基礎・基本の定着」の実感できる授業づくりの推進 ○家庭学習の定着、全教職員共通理解の元、具体的取り組みをすすめる ○教員一人ひとりが工夫した授業実践を行い、授業力の向上をめざす | |
| 重点に係る現状 設定理由 | ○授業力・教師力を向上させ、生徒にとっての「わかる楽しい授業」が主体的な授業参加・学習意欲の向上につながる。 ○家庭学習の取り組みを全教職員の共通理解の元、具体的な取り組みを行う。 | |

| 評価資料 | 評価 |
|-------------------------|---|
| 教職員アンケート結果 (具体的方策ごと) | ○生徒が主体的に学ぶ授業づくりの工夫・改善をしている設問には100%が肯定的回答をしている。 ○基礎・基本の定着ができる授業・学習指導が行われている設問には93%が肯定的回答をしている。 ○ITやICTを活用して丁寧に指導している設問には93%が肯定的回答をしている。 ○生徒に家庭学習の大切さを教え取り組みのための指導・工夫をしている設問には86%が肯定的回答をしている。 |
| 各アンケート等の結果 | ○生徒が主体的に学ぶ授業づくりをしている設問では、生徒の87%が肯定的回答をし、保護者の肯定的回答は71%であった。 ○基礎・基本の定着ができる授業、指導を意識している設問では、生徒の92%が肯定的回答をし、保護者の肯定的回答は71%であった。 ○ITやICTを活用して丁寧な指導をしている設問では、生徒の83%が肯定的回答をし、保護者の肯定的回答は61%にとどまった。 ○家庭学習の大切さを教え取り組み指導や工夫をしている設問では生徒の80%が肯定的回答をし、保護者の肯定的回答は60%にとどまった。 |
| 自己評価結果 (見解と改善方策) | ○各設問において、教職員と生徒について肯定的回答が高い割合であったが、項目により保護者の肯定的回答とは、多少の差異が生じた。 ○家庭学習の大切さを教える指導については、ここ数年肯定的回答の割合があまり高くなかったが、今年度は生徒80%、保護者の60%が肯定的回答をし、昨年度より高くなった。しかし、更に、指導に工夫をし充実させる取り組みをしていく必要がある。 *昨年度に比べ、保護者の来校機会が増えたとはいえ、設問によっては10～20%の保護者が「わからない」と回答している。情報発信を確実にし、丁寧に学校状況を伝えていく必要がある。 |
| 学校関係者評価結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で制限がある中で、学校はやるべきことをやってくれていると思う。 ・ICTを活用した授業は、とても興味があり是非みてみたい。 ・この評価の記入欄ですが、一番上に職員アンケート結果となっているが、先生方は二の次でいい。生徒評価が最重要視されるべきだとも感じる。 |
| 最終改善方策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用することが目的ではなく、活用して何をどのように学ばせるかが大切。職員の研修等を更にすすめ充実した活用をしていく。 ・保護者に生徒の頑張っている姿を多く見てもらうために来校機会を多く設定する。その中でたくさんの意見をいただき、有効な学校運営の参考にしていく。 ・小学校とも積極的に連携し、9年間を見通した教育をすすめていく。 |

| | | |
|-----------------|--|-------------------------|
| 本年度の重点 | 2 | 「生きる力」「豊かな心」を育成する指導にお充実 |
| 目標（評価規準） | ○生徒の生きる力、豊かな心を育てその成果として主体的な姿勢をもたせる。 ○生徒一人ひとりに居場所があり、仲間と協力して生活することができる。 ○問題の未然防止、早期発見、早期解決を図り、生徒一人ひとりが大切にされていることが実感できる学校づくりをすすめる。 | |
| 重点に係る現状 設定理由 | ○日常生活だけでなく、行事や部活動でも充実した取り組みができるよう学校環境を整えていく。 ○いじめ防止委員会・適応サポート委員会などを機能させ充実した活動をしていく。 | |

| 評価資料 | 評価 |
|-------------------------|--|
| 教職員アンケート結果 (具体的方策ごと) | ○「総合的な学習の時間」「道徳」など教育活動を通して「思いやりの心」「他人を尊重する心」育っている設問には、93%が肯定的回答をしている。 ○挨拶や礼儀など基本的な生活習慣が身につく指導をしている設問には、86%が肯定的回答をしている。 ○生徒を理解し、生徒との信頼関係を築けている設問には、93%が肯定的回答をしている。 ○問題行動やいじめ欠席の多い生徒への対応など、早期発見・対応・解決につとめている設問には、93%が肯定的回答をしている。 |
| 各アンケート等の結果 | ○「総合的な学習の時間」「道徳」など教育活動を通して「思いやりの心」「他人を尊重する心」など相手に思いやりをもって接している設問には生徒の87%が肯定的回答をし、保護者の肯定的回答は、75%であった。 ○挨拶や礼儀など基本的な生活習慣が身につく指導をしている設問には、生徒の95%が肯定的回答をし、保護者の肯定的回答は77%であった。 ○生徒と話しをしたり気軽に相談できる先生がいる、生徒と信頼関係が築けている設問には生徒の79%が肯定的回答をし、保護者の肯定的回答は71%であった。 |
| 自己評価結果 (見解と改善方策) | ○教職員の肯定的回答が多少低くなった。 ○「思いやりの心」「他者への尊重」については、生徒・保護者とも肯定的回答が例年と同様高かった。 ○相談できる先生との信頼関係を築いている設問では、生徒・保護者とも70%台の肯定的回答であり、ほぼ例年通りであった。 *各設問において教職員の肯定的回答が多少低くなる結果となった。生徒との信頼関係の構築は日常の教育活動にとって重要である。基本的な部分を再確認し、関係づくり・秩序（ルール）を含めた取り組みを更にすすめていく。 |
| 学校関係者評価結果 | ・SNSにより、いじめ的なものはゼロにはならないと思うが指導は指導として継続していくべき。 ・先生と生徒の関係が希薄にならないよう関係性をしっかり築いて欲しい。 ・学習することも大切だが、人間性を育てる教育もとても重要だと思う。 |
| 最終改善方策 | ・道徳教育の充実を更にすすめ、一人ひとりに確実な居場所があり、誰もが楽しく安全に生活するための環境を整えていく。 ・SNSによるトラブルについては、保護者へも理解を求め、講演会などを実施し日常的に協力してもらえる体制づくりをすすめる。 ・小学校と連携し「心の教育」をすすめていく。 |

| | | |
|-----------------|--|-----------------|
| 本年度の重点 | 3 | 家庭・地域との連携の推進と発展 |
| 目標（評価規準） | <p>○PTA・学校評議員会・青少年育成団体などを通して家庭・地域との連携を更にすすめる。</p> <p>○教育活動の現状などを理解してもらうため市民センターに学校だよりの掲示を継続し情報発信に努める。</p> <p>○小学校とも連携し、相互に授業の参観、授業研究会などに参加し一小一中の良さを生かした連携を強化しすすめる。</p> | |
| 重点に係る現状 設定理由 | <p>○地域に開かれた学校づくり推進のため参観授業などを実施する。また、地域行事にも教員・生徒を積極的に派遣していく。</p> <p>○学校だよりの情報発信を充実させ学校の現状や取り組みを理解してもらう。</p> <p>○小学校との連携を更に充実させ、小中9年間で生徒を育成していく。</p> | |

| 評価資料 | 評価 |
|-------------------------|---|
| 教職員アンケート結果 (具体的方策ごと) | <p>○保護者会・PTA・体育祭などを設け学校公開に取り組んでいる設問には100%が肯定的回答をしている。</p> <p>○登下校時の挨拶や地域行事を通して地域への感謝の気持ちを持たせる指導の設問については、60%が肯定的回答をしている。</p> <p>○学校からのお知らせや配布物等から学校の様子が伝わっている設問には80%が肯定的回答をしている。</p> |
| 各アンケート等の結果 | <p>○ボランティア活動や地域行事に参加し社会の一員として自覚をもっている設問には、生徒の51%が肯定的回答をするにとどまった。</p> <p>○学校は、積極的に学校公開に取り組んでいるという保護者への設問には、86%が肯定的回答をしている。</p> <p>○登下校時や保護者・地域の方や来校者に積極的に挨拶している設問には生徒の84%が肯定的回答をし、保護者の65%は肯定的回答をしている。</p> <p>○学校からのお知らせ・配布物は家で保護者に渡し保護者にも学校の様子が伝わる設問には生徒の80%、保護者の86%が肯定的回答をしている。</p> |
| 自己評価結果 (見解と改善方策) | <p>○ボランティア活動や地域行事への参加については、まだまだコロナ禍における地域行事の中止が多かった。</p> <p>○学校公開への取り組みは、ここ数年より多く実施できたため、肯定的回答が昨年度より上回った。</p> <p>○お知らせ・配布物についても情報発信を心がけ、保護者の肯定的回答が昨年度より10%上回った。</p> <p>* 初声地区の一小一中の良さを発揮し連携教育をすすめる予定であったが思うようにすすめられなかった。更に地域・小学校と連携しながら地域としての学校づくりを前進させていく。</p> |
| 学校関係者評価結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・これから少しずつ地域行事も復活してくると思う。子どもの活躍は地域にとっても活性につながる。 ・保護者が学校に来れない分、通信やお手紙での情報提供がしっかりされている。 ・早く、保護者が学校で子どもの頑張る姿が見れるといいと思う。 |
| 最終改善方策 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校公開や情報発信を確実にいき、学校内での生活の様子が伝わるよう工夫した取り組みをすすめる。 ・職員も地域行事に参加する体制を整え、地域の学校として活動していく。 |